



平成 28 年 2 月 吉日

地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム 2016
多様な自然・文化複合をふまえた未来可能な社会への転換
ー地球環境学における新たな挑戦ー
開催のお知らせおよびチラシ・ポスター掲示のお願い

拝啓 軽暖の候、皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、総合地球環境学研究所では、来る 3 月 5 日（土）東京国際フォーラム・ホール D5
におきまして、地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム 2016「多様な自然・文化
複合をふまえた未来可能な社会への転換ー地球環境学における新たな挑戦ー」を開催する
こととなりました。当研究所が第 2 期中期目標・中期計画期間（2009 年～2015 年）に推
進してまいりました超学際研究で得られた成果や現状の発表を踏まえ、2016 年 4 月から始
まる第 3 期における研究活動の展望を見据え、超学際研究の進め方について活発な議論の
場を持ちたく企画をしております。

つきましては、地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウムへのご理解、ご協力を
賜りますようどうぞよろしくお願いたします。また、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、
チラシ・ポスターを同封いたしますので、掲示し開催を周知していただければ幸甚に存じ
ます。

敬具

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
総合地球環境学研究所研究推進戦略センター
センター長 窪田 順平

聴講無料・要申込

定員100名 ※お申込み先着順

Date: Saturday 5th March, 2016

2016年 3月5日(土)
10:30~17:30

Venue: Tokyo International Forum (D5)

東京国際フォーラム
ホールD5

The RIHN Futurability Initiatives International Symposium 2016
Transformation Towards Sustainable Futures
in Complex Human-Nature Systems
New Challenges on Global Environmental Studies

地球研未来設計イニシアティブ国際シンポジウム2016

多様な自然・文化複合をふまえた
未来可能な社会への転換
- 地球環境学における新たな挑戦 -

Language: Japanese / English (simultaneous interpretation provided)

言語: 日本語 / 英語 (同時通訳有)

Organiser: Research Institute for Humanity and Nature (RIHN)

主催: 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 総合地球環境学研究所



Futurability Initiatives

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

多様な自然・文化複合をふまえた

未来可能な社会への転換 - 地球環境学における新たな挑戦 -

総合地球環境学研究所(地球研)は2001年に大学共同利用機関の研究機関として地球環境学の総合的な研究を進めるため設立されました。地球研では、「地球環境問題の根源は、人間文化の問題にある」という認識のもと、地球環境問題の解決に資する学際的な研究プロジェクトを実施してきました。第2期中期目標・中期計画期間(2009年~2015年)には、社会の様々な人々との協働により課題解決に向けた取り組みを行う超学際研究を推進してきました。これらの取り組みを元に、多様な自然や文化をふまえた持続可能な未来社会の実現に向けて、地球研の科学が何をなすべきかを議論します。

プログラム

(変更の可能性あり)

Chair: Steven R. McGreevy(RIHN), Yuko Onishi (RIHN)

司会: スティーブン・マックグリーバー (総合地球環境学研究所 准教授)、大西 有子 (総合地球環境学研究所 助教)

10:30-11:00 開会挨拶 Opening address — 安成 哲三 (総合地球環境学研究所 所長) Tetsuzo Yasunari (RIHN D-G)
趣旨説明 Introduction — 窪田 順平 (総合地球環境学研究所 副所長) Jumpei Kubota (RIHN Deputy D-G)

11:00-12:00 Session 1 : Keynote Address
第一部 : 基調講演

未来可能な社会に向けた知の共創

Researching Pathways to Sustainable Futures with and for Stakeholders

— イラン・チャバイ (持続可能性高等研究所 地球持続可能性学上席アドバイザー) Ilan Chabay (IASS Potsdam Senior Advisor for Global Sustainability Research)

13:00-15:00 Session 2 : Transdisciplinary Studies Towards Sustainable Future
第二部 : 未来可能な社会に向けた超学際研究

東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティの向上
Coastal Area-capability Enhancement in Southeast Asia

— 石川 智士 (総合地球環境学研究所 准教授) Satoshi Ishikawa (RIHN)

統合的水資源管理のための「水土の知」を設える

Designing Local Frameworks for Integrated Water Resources Management

— ドロテア・アグネス・ランピセラ (総合地球環境学研究所 准教授) Dorotea Agnes Rampisela (RIHN)

地域環境知形成による新たなコモンズの創生と持続可能な管理

Creation and Sustainable Governance of New Commons through Formation of Integrated Local Environmental Knowledge

— 佐藤 哲 (総合地球環境学研究所 教授) Tetsu Sato (RIHN)

15:15-17:30 Session 3 : Transformation Towards Sustainable Future
— RIHN's Research Plan in the 3rd Mid-term Period

第三部 : パネルディスカッション 未来可能な社会への転換に向けて — 地球研第3期構想

地球研第3期の研究構想 RIHN's Research Plan in the 3rd Mid-term Period

— 谷口 真人 (総合地球環境学研究所 副所長) Makoto Taniguchi (RIHN Deputy D-G)

パネルディスカッション
Panel Discussion

安成 哲三、イラン・チャバイ、傘木 宏夫 (NPO地域づくり工房代表理事)、井田 徹治 (共同通信社・編集委員兼論説委員)、

安岡 善文 (東京大学名誉教授)

Tetsuzo Yasunari, Ilan Chabay, Hiroo Kasagi (CEO, NPO Workshop for Sustainable Community),

Tetsuji Ida (Kyōdō News Senior Staff Reporter), Yoshifumi Yasuoka (Professor Emeritus, The University of Tokyo)

司会: 佐藤 哲 coordinated by Tetsu Sato

お申込み

下記メールアドレスにお名前、ご所属、メールアドレスをお知らせください。

お申込み先 2016年2月29日(月)17:00 必着

FutureRIHN@chikyu.ac.jp

※この申込みを通じて得た個人情報は、本シンポジウムの連絡のみに使用させていただきます。

※インターネットを使ったストリーミング放送による中継を行います。予めご了承の上お申し込みください。

Participation: Admission is free. Please register by 17:00 on February 29th. Email your name, affiliation, and email address to FutureRIHN@chikyu.ac.jp

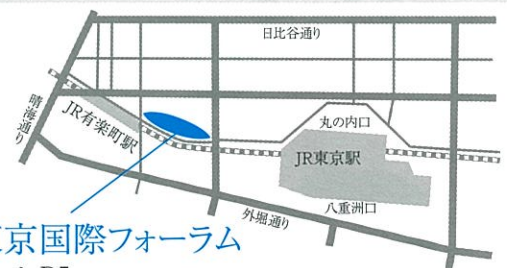
Please note: the symposium will be live-streamed to YouTube Live in both Japanese and English.

お問い合わせ

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

総合地球環境学研究所 研究推進戦略センター 基幹研究ハブ部門 TEL : 075-707-2378

会場



東京国際フォーラム

ホール D5 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

東京駅より徒歩5分 (京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)